

クリタ分析センター株式会社 厚木事業所整備事業 認証評価書の内容

1 事業の概要

事業の名称	クリタ分析センター株式会社 厚木事業所整備事業
事業の実施者	クリタ分析センター株式会社
事業の実施区域	厚木市森の里若宮7番1号
事業の規模	延べ床面積：3,637m ²

2 環境共生の取組の評価結果

代表指標	取組の評価結果
緑化率	63.1%
エネルギー削減率	BEI 0.84
CO ₂ 削減率	13.0%

個別指標	取組項目数	目標項目数
目標1	7	4
目標2	8	8
目標3	2	2
目標4	3	3

3 環境共生の取組の継続・維持管理方針

本認証評価書に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、適正に継続・維持管理が図られるよう努めるものとする。

また、本事業により整備する施設等を譲渡などにより第三者へ承継する場合、承継する者に対し、本認証評価書に基づく環境共生の取組を可能な限り継続していくよう通知するとともに、速やかに県に対して申し出るものとする。

4 環境共生の取組の実施内容

【目標1】自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
土地	大幅な土地形状の変更を抑制する	・既存の土地形状を生かし、大幅な土地形状の変更は行わない。
	地域の風の流れに配慮した土地利用及び建物配置とする	・建築物の高さ、形状等を工夫するとともに、夏季の卓越風向に対する建築物の見付け面積を小さくするよう努めるなど、地域の風の流れに配慮した計画とする。
	既存の樹林地、草地、水面、農地等を保全する	・厚木市森の里の豊かな自然に囲まれた立地特性を把握し、建物の計画場所は斜面を削ったり、雑木林を伐採することのない範囲とする。
みどり	気候緩和のための計画的な緑地を配置する	・敷地周囲の既存森林エリアを保全することで、敷地外環境への影響を低減させる緩衝帯とする。
	地域・地区の特性、生態系に配慮した緑地を整備する	・敷地周囲の既存森林エリアを保全することで、動植物環境と傾斜地の表土を保護した計画とする。
	道路との敷地境界に生垣や緑地緩衝帯などを整備する	・地域とつながる森には手を付けずに、前面道路から今回の建物は見えない配置計画とする。
	シンボリックな大径木を保全する	・敷地内は広い既存緑地を保全し周辺環境への配慮を行う。

【目標2】環境への負荷を低減する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
水	上水道の節水設備を導入する	・節水型便器の導入により、水の省資源化を図る。
エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制にかかる措置を講じる	・窓ガラスに高性能の複層ガラスを採用することにより、熱を遮断して空調負荷を軽減する。
	通風、熱、日光などの自然エネルギーをパッシブ利用する	・天窓を設けて、3階廊下や2階共用ホールで照明などのエネルギーを削減する。
	省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する	・空調、照明を高効率機器とし建物の省エネルギー化を図る。
	エネルギーの需要と供給をコントロールするマネジメントシステムを導入する	・BMSを採用し、空調機別の熱使用料のモニタリングが可能な計画とする。
資源循環	設備の維持管理対策・更新性等の措置を講じる	・各階の階高を確保することで天井内のメンテナンスや更新に配慮し、屋上に将来的な機器増設のためのスペースを設ける。
	建築物、外構等にリサイクル材を使用する	・内装にビニル床やタイルなどのリサイクル材を使用する。
	既存構造物を利活用する	・既存の基礎を新設設備の基礎に利用する。

【目標3】環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
交通	施設の整備規模に応じた駐・停車、駐輪スペースを確保する	・利用者のための適切な量の駐車、駐輪スペースを確保する。
	公共交通への近接性を確保する	・事業実施箇所は最寄のバス停から徒歩3分の場所に位置している。

【目標4】地域アメニティを創出する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
地域アメニティ	地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする	・建物は3階建の低層とし、周囲の森に隠れるように計画する。
	利用者が安心して過ごせるよう、地域の防災・防犯対策に係る取組を実施する	・災害対策として非常用発電機を設置する。
	利用者が健康・快適に過ごせる環境づくりに係る取組を実施する	・地域との交流や職員のリフレッシュを意図した共用部のホールを設ける。